

web 教室◆日能研からのお知らせ 6月号 6年生 国語

学力チェックテストを活用していますか？ 学力チェックテストは、これまでの一ヶ月間で学習した内容を復習できるテストです。このテストを使って今までの学習で身についたところ、忘れてしまっていたところをしっかりとチェックしてみてください。わからなかったところは、もう一度テキストやノート、動画を見直してもう一度学習しておきましょう。

第33回では、第31・32回に続いて詩に関して学習します。鑑賞文付きの詩などを読むことで「工夫された表現を手がかりにして、中心をさぐる」ことに取り組みます。また、第34～36回で物語を学習することで「明示された情報を手がかりにして明示されていない情報を類推する」ことに取り組みます。

また、語句単元となる「読む」「書く」ツールでは文法や品詞・敬語に関する知識を学習していきます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。

◆第33回 詩・短歌・俳句 韻文を含む文章／品詞Ⅰ

前回に引き続き、詩についての学習になります。今回は鑑賞文付きの文章を取り上げ、詩や短歌の内容と鑑賞文の内容を対応させながら理解を深めていくことが基本となります。鑑賞文で説明されている内容が詩や短歌の「どの部分」についてのものなのか、詩の作者の思いと鑑賞文の筆者の思いを読み分けることを意識して取り組みましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「品詞」を学習します。十品詞の分類や識別について、それぞれの品詞の働きや用法について、テキストの説明をもとにしてしっかりと覚えていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1つ目の短歌と鑑賞文（問題1①～④）、2つ目の短歌と鑑賞文（問題2①～⑤）

「読む」「書く」ツール・・・①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・1～10

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十三回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・3つ目の対話文（問題3①・②）

文章②・・・詩と鑑賞文（2題） ※動画内で解説しています。問題1（①～③）のみ、というように、量を調整して取り組んでもよいでしょう。

「読む」「書く」ツール・・・（再確認）⑦～⑧

◆第34回 物語 場面の移り変わり／品詞Ⅱ

今回から物語の学習になります。入試でも頻出となるジャンルとなるので、一つ一つポイントを確かめながら取り組みましょう。

今回は「場面」の理解に取り組みます。文章全体がどのようなまとまりで構成されているのかをとら

えることが「場面（分け）」の問題のポイントになりますが、場面や出来事の変化を読み取ることが登場人物の心情をとらえる手がかりにもなります。物語のそれぞれの場面で描かれている内容を頭に浮かべながら理解を深めていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは前回に続いて「品詞」について学習します。今回は助詞・助動詞の識別に関する問題が中心となっています。テキストの説明も参考にしながら取り組みましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 $\boxed{1}$ ・・・1・2

「読む」「書く」ツール・・・ $\boxed{1}$ ～ $\boxed{4}$

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の $\boxed{2}$ （文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・1～5

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十四回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 $\boxed{1}$ ・・・オプション 探求

文章 $\boxed{2}$ ・・・1～9 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・(再確認) $\boxed{6}$ ・ $\boxed{7}$

◆第35回 物語 主題へつながる心情／品詞Ⅲ

前回に引き続き、物語の学習となります。「心情」は物語の読解のなかでも中心となる単元です。心情を考えるための手がかりに着目しながら、出来事の流れに注目して一つ一つの心情を把握し、その変化をとらえる、というように、前回学んだ「場面」の考え方も活用しながら取り組みましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは引き続き「品詞」です。前回のテキストの説明も活用しながら、助詞・助動詞の識別に取り組みましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 $\boxed{1}$ ・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・ $\boxed{1}$ ～ $\boxed{4}$

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の $\boxed{2}$ （文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十五回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 $\boxed{2}$ ・・・1～12 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・(再確認) $\boxed{6}$ ～ $\boxed{9}$

◆第36回 物語 比喩で表現されていること／敬語 I

前回に引き続き、物語の学習です。今回は比喩表現に着目し、その内容を考えることを中心に取り組みます。比喩の読解は、「何を」「どのように」表現したかをとらえ、表現の持つ意味やイメージを踏まえて内容を考える、という手順が求められますが、物語の読解では心情を含む表現となる場合が多く、注意が必要です。これまでで学んだ知識も活用して取り組んでいきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「敬語」に取り組みます。敬語表現は尊敬語・謙譲語・丁寧語と大きく分類されますが、誰に向けての言葉なのかを意識し、敬語特有の表現をしっかりと覚えて使えるようになることが第一です。テキストの説明も活用して取り組みましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 $\boxed{1}$ ・・・1～8

「読む」「書く」ツール・・・ $\boxed{1}$ ～ $\boxed{5}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の $\boxed{2}$ （文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・★の問題

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十六回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 $\boxed{2}$ ・・・1～6 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・(再確認) $\boxed{6}$

(ご購入されている方のみの案内です)

「語句のまとめ」の教材について、こちらは宿題用の副教材として運用しています。

本科テキストと連動しない形で、語句の問題に取り組むことで幅広い知識の習得を目的として、前期第19回の宿題として「語句のまとめ」第1回、前期第20回の宿題として「語句のまとめ」第2回・・・、という形で取り組む形を想定しています。

今回、6月度につきましては、第33回＝第15回、第34回＝第16回、第35回＝第17回、第36回＝第18回が宿題となります。前半2ページ「入試に向けて知識を定着させよう！」の部分をまずは取り組みましょう。

後半2ページ「知識をさらに深めよう！」の部分は応用問題の位置づけです。時間に余裕がある場合、その単元が苦手である場合、第一志望校で頻出の単元である場合などは取り組んでみてもよいと思います。

web教室◆日能研からのお知らせ 6月号 6年生 算数

春から夏へと季節が変わっていくと、心もウキウキしますね。学習するにも、良い季節になりました。今月、学ぶ単元は非常に大切なので、学習ペースをもう一度見直して良いサイクルの学習を継続させていきましょう。その上で、勉強を中心においた生活に少しずつ変えていきましょう。6月は「平面図形」と「速さ」を学びますが、どちらも「比」を使うことで構造を単純化できます。いずれも入試では重要な単元ですので、しっかりと取り組みましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第33回 平面図形 ～図形と比②～

第32回で学んだ「底辺比と面積比」の考え方に、「相似」の視点が加わります。相似とは、一方の図形を拡大・縮小するともう一方の図形と合同になる関係でした。一体、何倍に拡大・縮小しているのかという「大きさ比べ」の視点が大切になりますが、あと、「相似な図形は共通の性質をもつ」という視点も大切にしながら、取り組むようにしてください。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④、知識技術①～⑧

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑧

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③, ⑤

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ③, ④

◆第34回 速さ ～速さと比～

今回からは、「速さ」を学びます。6年生での学びをはじめるまえに、「文章を正しく読んで、条件を整理する」ことや「単位換算に注意する」などは、もう一度確認しておきましょう。さて、5年生では、「速さ＝道のり÷時間」という速さの概念を中心において、取り組みましたが、6年生では、ここに「比」を融合させて考えていきます。「比」を利用した解法が身につくと、一気に解法の幅が広がります。「共通なもの何か」をはっきりとさせながら、取り組んでいきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑦

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ③, ④

◆第35回 速さ ～進行グラフと比・図形上の点の移動～

「速さ」を解けるようにするには、まず、「問題に書かれている状況を整理する」ことが大切になります。これを助ける大切なツールが「グラフ」です。横軸に時間、縦軸に道のりをとって、モノが動いている様子を表わす「進行グラフ」を使うと、その状況がわかりやすくなります。また、2人のへだたりを表わす「へだたりグラフ」も学びましたが、これも改めて「進行グラフ」にかきなおすことで、状況がわかりやすくなりますよ。さらに、「共通なものは何か」に注目して、比を利用すると・・・

さらに、図形上の点の移動も問題も、点が通る経路が辺になっているだけなので、難しく考えずに取り組んでいきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術 1～8

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～8

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 3

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2, 3,

◆第36回 速さ ～通過算・時計算・流水算～

第34回・第35回で学んだ速さに、一ふりのスパイスがきいた文章題をあつかいます。「流水算」では、もともとの船の速さ（静水時の速さ）に流れの速さを加えたり、引いたりしないと、実際の船の速さを求めることができません。「通過算」では列車という幅を道のりに加えて考えないといけませんでした。また、「時計算」では、時計の針が移動した道のりではなくて、角度に注目しないといけませんでしたね。状況を整理することで、どの部分に注意しないといけないかが分かると思います。そのためにも、通過算や時計算は必ず状況を表わす図をかきながら、取り組むようにしてください。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④ 知識技術 1～5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～5

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 16, 20, 21

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2, 9, 12, 13

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第33回 平面図形 図形と比②

今回は、図形の相似に関する問題を学習します。平行な直線から相似な三角形を見つけ出すパターンでは、5年生でも練習したように、相似比を利用して解いていくことがほとんどです。それに対して、**9**、**10**、**12**のような直角三角形の相似の問題では、三角形の2辺または3辺の比を利用して解くのがわかりやすいです。特に、3辺の長さの比が3：4：5になる直角三角形が出てきたときは、この比をうまく使って解いていきましょう。

なお、**10**、**12**、**13**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第34回 速さ 速さと比

今回から、速さの学習に入ります。今回は、比を利用して解く速さの問題を学習します。例えば、速さの比と道のりの比がわかっているとき、時間の比を求めるには、「時間の比＝道のりの比÷速さの比」とすればよいように、比の場合でも、速さ・時間・道のりの関係は成り立ちます。その中でも、道のりが一定の場合には、速さの比と時間の比が逆比になること利用する問題がよく出てきます。必ず覚えておきましょう。

なお、**10**、**11**、**12**、**15**、**16**、**17**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第35回 速さ 進行グラフと比・図形上の点の移動

今回は、進行グラフと比の問題と図形上の点の移動の問題を学習します。**4**～**9**の問題はテキストに図がありませんが、自分で進行グラフを書きながら解いてみましょう。進行グラフで表すことによって、同じ道のりを進むのにかかる時間の比が見つかりやすくなるなど、問題文を読むだけではわかりにくい大事なヒントが明らかになります。また、点の移動の問題でも、もちろん図を描いて解きましょう。

なお、**2**、**6**、**8**、**12**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第36回 速さ 通過算・時計算・流水算

今回は、通過算・時計算・流水算を学習します。この中で、流水算は6年生で初めて登場する単元です。船の静水時・上り・下りの速さと川の流れの速さを整理して書いておくなど、途中で速さの種類を間違えないように工夫しましょう。また、2つの船が登場する流水算の旅人算については、難問が多く出題されています。

なお、**8**、**10**、**11**、**12**、**18**、**19**、**22**、**23**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

雨の続く季節となりました。晴れ間は気温が上がりますが、雨が降ると肌寒く感じることもあります。体調に気を付けて、元気に過ごしましょう。

6月の理科では「光の性質」「回路を流れる電流の強さ」「電流と発熱・磁力」「力のつりあい(ばね・てこ)」について学びます。答を出すだけでなく、それぞれの数量の間にある規則性を正しく見きわめることが大切です。

◆第33回 光の性質

光が進むときの規則性について、さまざまな実験結果を基に考えてみよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・平行光線と拡散光線の進み方のちがいを理解しよう。
- ・針穴写真機の仕組みを理解しよう。
- ・光が反射するときの規則性を理解しよう。
- ・光が屈折するときの規則性を理解し、屈折によって起こる現象をについて調べてみよう。
- ・とつレンズを通る光の通り道がどのように変化するのか調べてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し① 1、3 学び直し③ 1～4

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① 2、4 学び直し③ 5～8

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第34回 回路を流れる電流の強さ

電池のつなぎ方や豆電球のつなぎ方を変えると、回路に流れる電流の強さも変わります。どんな規則に基づいて電流の強さは変化するのか、考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・直列つなぎでは、豆電球の明るさが変わることを覚えよう。
 - (1) 豆電球が増える→明るさが暗くなる
 - (2) 乾電池が増える→明るさが明るくなる
- ・並列つなぎでは、豆電球の明るさが変わらないことを覚えよう。
 - (1) 豆電球が増える→乾電池を流れる電流が増える
 - (2) 乾電池が増える→乾電池を流れる電流が減る
- ・LEDの特ちょう、電流計の使い方を覚えよう。
- ・ニクロム線の断面積や長さや電気抵抗の関係性を調べよう。
- ・電気抵抗のつなぎ方を変えたときに、電流の強さがどのように変化するのかを考えてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求

- ・「栄冠への道」…学び直し① 1、2、3、4 学び直し③ 1、2
- ③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① 5 学び直し③ 4、5
- ④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し② 学び直し③ 3、6

◆第35回 電流と発熱・磁力

電流が流れると、その周りに磁力線が発生します。この磁力線を利用したものが電磁石です。身近な道具ではモーターに電磁石が使われています。また、手回し発電機やコンデンサの特徴も調べてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・ニクロム線(ニクロムという金属でできた針金)に電流を流したときに発生する熱量と、電気抵抗、電流の間にどのような関係があるのか考えてみよう。
- ・電流が流れているときに発生する磁界の向きや、発生した磁界の向きが方位磁針のN極の向きと一致することを確認しよう。
- ・導線の周りの方位磁針のかたむき方を理解しよう。
- ・磁石の周りにできる磁界の向きやようすについて調べてみよう。
- ・コイルに電流を流すと、棒磁石と同じような磁力線の発生することを確認しよう。
- ・電磁石を強くする方法を考えてみよう。
- ・モーターの仕組み、手回し発電機の使い方、コンデンサーの働きを理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し① 2、3、4 学び直し③ 1、2、3

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① 1 学び直し③ 4、5

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第36回 力とつり合い①

のび方のちがうばねを組み合わせて使うとき、どのような力のかかり方をするのでしょうか。また、てこのつり合いを利用して、いろいろな場合の力のかかり方を考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・のび方のちがうばねを、直列につないだときと並列につないだときの、力のかかり方を考えてみよう。
- ・てこのつり合いの計算をするとき、逆比を使ったいろいろな工夫を調べてみよう。
- ・板におもりを取り付けたときのつり合いを考えてみよう。
- ・重さのある棒を用いたてこのつり合いの計算方法を理解しよう。
- ・重さのある複数の棒を組み合わせたときの、てこのつり合いを考えてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①1、3 学び直し③ 1、2、3、4

- ③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① ② 学び直し③ ⑤、 ⑥
- ④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し② 学び直し③ ⑦、 ⑧

◆第33回 大正デモクラシーと日中戦争への道

大正時代と昭和時代初期を学習します。植民地の獲得競争が激しくなるなか、第一次世界大戦がおきます。このときにおきた日本での変化をとらえるとともに、「大正デモクラシー」という民主主義を求める風潮や、第一次世界大戦から日中戦争へといたる流れを確認しましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・第一次世界大戦と日本との関わりを確認しよう。
- ・政党政治がおこなわれるにいたる過程や普通選挙法の内容を確認しよう。
- ・満州事変から日中戦争へといたる過程を確認しよう。

②「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・P110 ㉗ P111 ㉘

①「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読もう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう。

◆第34回 太平洋戦争と戦後の日本のあゆみ

昭和時代の前半（いわゆる戦前）と昭和時代の後半（いわゆる戦後）以降を学習します。戦争がもたらした被害を意識し、日本が復興し国際社会へ復帰する過程をとらえましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・太平洋戦争のはじまりから日本の敗戦にいたる過程を確認しよう。
- ・戦後実施された日本の民主化政策の内容を覚えよう。
- ・冷戦下の世界の情勢と日本への影響（国交正常化、国連加盟など）を考えてみよう。
- ・高度経済成長と東アジアの国との国交正常化へといたる経緯をおさえよう。

②「日本史資料集」ここだけは参照しておこう

- ・P116 ㉙～P121 ㉚

②「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読もう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう

◆第35回 日本国憲法の三原則

今回から、政治分野の学習がはじまります。日本の政治がどのようにおこなわれているのかをしっかりとおさえましょう。今回は、日本国憲法の三原則をおもに学習します。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・日本国憲法と大日本帝国憲法との違いをおさえ、日本の選挙制度を確認しよう。
- ・国民主権の内容を日本国憲法の条文をもとに確認しよう。
- ・平和主義の内容を日本国憲法の条文をもとに確認しよう。
- ・基本的人権の内容を日本国憲法の条文をもとに確認しよう。

②「日本国憲法」ここだけは参照しておこう

- ・以下のものは必ず参照しよう。

前文、第1条、第9条、第25条

- ・以下のものは時間的に余裕があれば参照しよう。

第3条、第6条、第7条 第11条～第14条、第18条～第24条、第26条～第28条

③「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読もう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう

◆第36回 三権のしくみとはたらき

今回は、三権分立を学習します。それぞれの権力をにぎっている国会・内閣・裁判所がどのような機能を持って相互に関係しているのかを考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけはおさえておこう

- ・立法権をになう国会のはたらきを確認しよう。
- ・行政権をになう内閣のはたらきを確認しよう。
- ・司法権をになう裁判所のはたらきを確認しよう。

②「日本国憲法」ここだけは参照しておこう。

- ・第41条、第54条、第59条、第60条、第66条～第68条、第76条

③「本科教室」解いてみよう

- ・オプション探求、シナジー

④「栄冠への道」

- ・「思い起こし②」を読もう。
- ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう